

公務員試験体験談(1):女子(園芸経済学科4年)

1. 合格先:

東京税関

2. 公務員対策を始めた時期:

大学3年の10月から準備を始め(参考書集めなど)本格的に勉強しだしたのは11月に入ってから。

3. 専門学校, 通信教育講座等の利用の状況:

- 専門学校に通うのは向いてないと思ったため、独学。
- しかしLECの模試は3回受験した。

4. 受験の動機:

- 農業に関われる、農業試験場や植物防疫所などで働いてみたいという気持ちと諸外国の方々と関われる仕事がしたいという2つの気持ちがあり受験した。
- 最終的には、悩んだが、語学力が付き、諸外国の方々とも関わりがあり、仕事の幅が広く、やりがいのあると感じた税関に決めた。

5. 公務員対策で苦労したこと:

- 出題範囲が広いので、一通り勉強するのも時間がかかること。
- そもそも公務員試験について理解するのに時間がかかったこと。
- 教養に取り掛かるのが遅すぎた(本格的にやりだしたのは2月頃だったか...)ため、教養で点数をなかなか稼げなかった。
- 私の場合、県庁と国家Ⅱ種の2次試験の日が同じだったため、泣く泣く県を辞退した。農学職はもともと受けられる試験が少ないのにも関わらず、辞退しなければならないのはきつかった。
- 国家の場合1次試験に通った後、官庁訪問というものをしなければならないが、意味が分からずに困った。
- 1次試験に受かれば合格したも同然、という気持ちでいたが、本当に大変なのは1次試験が終わった後からだった...
- 公務員試験は結果が出るのに時間がかかるので、結果が出るまで不安でならなかったし、何も手につかなかった。
- 面接対策をほとんどやらなかったため、しどろもどろだったこと。

6. 公務員試験を乗り切るための心構え:

- 公務員試験の勉強をしていると、自信も持てずに自暴自棄になったりします。正直言って、辛い気持ちは試験を受ける人にしか分らないと思います(民間就職の人は民間就職ならではの就活の辛さがあるでしょうが)。そんな時、一人でもいいので公務員を受ける友達がいるととても頼もしいです。私はとても助けられました。
- あと、勉強していても息抜きは大切です。詰め込みすぎても身に入りません。私は近くの

図書館や大学の図書館でよく勉強していましたが、その帰りによくゲームセンターに立ち寄ってシューティングゲーム等をして遊んでいました。アニメや動画もよく見ていました。(この話を友人にするととても呆れられました。私は正直息抜きしすぎでした。息抜きはほどほどに…)

- 私は教養は苦手でしたが、専門は結構自信があったので、Ⅱ種の時も午前中の教養は失敗したと思いましたが、午後の専門を頑張ろうと切り替えて集中しました。自分が得意なものを作っておくといいと思います。同じ問題集を何度も繰り返すことも大切です。
- 面接対策ですが、ほとんど対策をやらなかった私が言うのもなんですが、普段からの言葉使いに注意して、にこにこはきはき応えられれば大丈夫だと思います。ただ、面接カードに書くことはあらかじめ用意していくべきです。

7. 補足

(1) 役に立った資料・参考書

- 教養は、基本、新・スーパー過去問ゼミ（著：資格試験研究会）を中心に過去問を使って勉強していた。数学や化学、生物、地学、世界史、日本史、経済・・・など、教養は多岐に渡って出題される。勿論全てを勉強すればよいが、ものすごく時間がかかるので、高校で選択していた科目を中心に絶対に解く科目を作っておくとよい。ただ、今まで一度も勉強したことのない科目の問題を勉強する場合、スーパー過去問ゼミにも問題の前に簡単な説明が載っているが、分かりにくいので、私は高校の教科書を読んで補充した。幸い、千葉大の西千葉図書館には、中学や高校の教科書がととも揃っている。どんどん活用するとよいと思う。
- 数的処理や判断推理に関しては、畑中敦子の「判断推理の新兵器！」と、「数的推理の大革命！」（通称ワ二本）を2～3回解いてパターンを覚えるようにした。また、何分で解けるかをストップウォッチで計って時間を意識して問題を解いた。
- 専門に関しては、花や雑草、昆虫などの名前を覚える時に、図鑑で調べて記憶した。勉強に疲れた時に図鑑をめくるようにした。
- どちらにも言えることだが、問題中心に勉強を進めていく方が問題を解きながら覚えるのでいいと思う。よく似た問題が必ず出題されている。
- 模試も何回か受けて、自分なりの時間配分を見つけることが大切だと思う。

(2) 面接で聞かれた内容、面接の形式(集団/個人)

- 官庁訪問先では2人面接官がいて、2対1で面接を行なった。1回目の面接が終わった後、別室で待たされ、その後違う面接官とまた2対1で面接した。
- 聞かれた内容は面接カードに沿った内容だった。面接カードというのは、面接が始まる前に30分程の間で書かされるもの。時間が来ると回収されるので、事前を書くことを家でメモにまとめておいて写すだけにしておいた方がよい。だいたい、志望動機、卒論内容、サークルや学校のこと、資格、特技、最近気になったニュース、自己PRの

欄などがある。

- 書いてあることに対して質問され、それに答えるという感じ。私は中学や高校で頑張った部活動のことを話題にして盛り上がった。昔のことですが、頑張りは無駄にならないと思った。面接はとにかくはきはき、にこにこ笑顔で答えることがベスト。
- 人事院面接も官庁訪問と同じで、その日面接カードに書いたことを聞かれた。こちらはあまりつつこんだ質問はされず、15分程ですぐに終わった。ただ、最初の質問が「公務員の不正について」で、次の質問が「公務員がすぐに周りからたたかれるのはなぜか」だった。最初からこんな質問をされると思わなかったのと緊張していたので、しどろもどろで答えてしまったのはあとですごくへこんだ。
- どちらの面接も、人柄やコミュニケーション能力が大事だと思ったので、普段から目上の人に話す時の言葉使いなど気をつけておいた方がいいと思う。